

ファミリー・サポート・センター
協力会員養成講習会(前期)

地域の子育てを応援するファミリー・サポート・センター協力会員の養成講習会を開催します。

☎左表のとおり

場 堀金老人福祉センター(憩いの里うらら)

対受講後に協力会員として活動できる
市内在住・在勤の20歳以上の人

費 無料

定 30人(先着順)

申 6月20日(金)までに申込書をファミリー・サポート・センターへ提出または左記2次元コードから。申込書は同センター・子ども家庭支援課・市HPで入手できます。

他 当日は、無料託児が利用できます。(定員あり・要相談)その他詳細は市HPをご覧ください。

サポーターセンター(71・1125)までお問合せください。

子ども家庭支援課
Tel 71・2077



6月27日(金) 9:15~15:30
7月3日(木) 9:30~12:30
7月11日(金) 10:00~15:30

日程

第1回自然観察会

夜の森にいる昆虫について知っていますか。普段見ることができない虫の観察から、身近な自然の生態系を学びます。

☎6月28日(土)

午後7時~8時45分(予定)

場 長峰山山頂周辺(明科)

市内在住の人(小学生以下は保護者同伴)

講 那須野雅好さん(三郷昆虫クラブ世話人)、中田信好さん(田淵行男記念館館長)

費 無料

定 30人(抽選)

申 6月3日(火)までに、右記2次元コード(ながの電子申請サービス)から。

サービスが利用できない場合は問い合わせください。

環境課

Tel 71・2492



イベント・講座

一般介護予防教室
エンジョイシニア!実践おたっしや塾

体操や各種講話を通じて健やかな生活を送るための秘訣を学びます。

☎6月11日~9月3日(全12回)

水曜日、午前9時45分~11時15分

場 地域支え合いセンターあんしん

市内在住のおおむね65歳以上の人

※関節疾患等のある人は要相談

費 無料

定 25人(抽選。新規の人優先)

申 5月27日(火)から30日(金)に高齢者介護課へ電話で

他 運動強度はやや弱め

問 高齢者介護課

Tel 71・2474



健康安全運転講座

安全運転を続けるための知識や運動機能維持のコツを学びます。

☎6月18日(水)

午後1時30分~4時10分

場 長野ダイハツ販売株式会社穂高店

内▽正しい運転姿勢と車の死角確認・誤発進抑制機能の体験

▽安全運転講話

ゆる〜くつながる出会いの場!

ゆる〜くつながるおしゃべり会

誰でも自由に集まりゆる〜く交流できるおしゃべりの場です。仲間の輪を広げるため、自分の思いややりたいことを伝えてみませんか。

☎6月21日(土)

午前9時30分~11時30分

場 堀金支所1階ロビー

内①「こんなことやっています!やりた

いです!」PRタイム

②ゆる〜くつながるおしゃべり会

問 市民活動サポートセンター

Tel 71・2013



ねこのニャンでも相談

飼いネコのしつけや野良ネコ対策など、身近な猫の悩みにお答えします。予約は不要ですので、都合の良い時間にお越しください。

☎6月20日(金) 午後1時30~3時

場 市役所2階204会議室

問 環境課

Tel 71・2491



▽運転能力の維持向上に役立つ健康指導
市内在住のおおむね65歳以上の人

費 無料 (定 20人(先着順))

申 6月9日(月)までに電話で

問 高齢者介護課

Tel 71・2474



あかしな農産物加工交流ひろば
「えべや」の催し

■料理教室「柏餅作り」

☎6月18日(水) 午前10時~正午

費 1500円

■体験教室「とつから味噌、塩こうじを作る」

☎6月21日(土) 午前10時~正午

費 1500円

■共通事項

場 えべや 講 えべやスタッフ

定 各10人(先着順)

持 エプロン、マスク、三角巾

申 5月27日(火)から「えべや」へ電話で

(Tel 88・6275 受付は月曜日を

除く午前10時から16時。キャンセル

は2日前まで)

他 子ども同伴の参加は要相談

問 農政課

Tel 71・2427



松本広域連合消防職員(上級)募集

問松本広域連合事務局 Tel.87-5460

令和8年4月採用松本広域連合消防職員(上級)の採用資格試験を行います。

☎1次試験 6月22日(日) 教養、適性、体力試験

場▷教養試験:松本市役所波田支所 ▷体力試験:松本市波田体育館

対平成9年4月2日から平成16年4月1日に生まれた、大学卒業程度の学力を有する人

採用予定人数 若干名

申5月29日(木)から6月6日(金)に申込書を松本広域連合事務局へ提出。

申込書・詳細は松本広域消防局HPをご覧ください。



小説『安曇野』を読もう!

第3回 第1部(その一四から一八) 難解小説たるゆえん

穂高での新生活を送る相馬良は病を発症します。その治療のため愛蔵は、東京での生活を決断。「東京の匂いがするよ」良は、鼻をく

して井口喜源治創設の研成義塾新校舎が穂高の三枚橋に設立される一六に続いていきます。

この言葉から始まります。時を同じくして荻原守衛の明治女学校深山軒での生活もスタート。絵画研

修のための渡米であったはずの守衛に女性の影が見え隠れするなど、

守衛 厳本善治明治女学校校長、愛蔵、良らのほとんどとした男女のドラマが展開していきます。

その一五では、田中正造の足尾銅山の渡良瀬川鉱毒問題に加え、

幸徳秋水が万朝報に発表した「非戦主義」へと物語が展開します。そ

ながっていきます。

※滾々泊々

「こんこんこつこつ」または「こんこんいつつ」と読みます。臼井吉見が好んだ言葉で、墓碑銘にもなっています。安曇野の湧水のように言葉が次々と湧き出る様子を表しています。

